

サマースタディーツ

1 日体験 農作物のお医者さんとして、途上国の食糧問題に挑む国際農学系

食や農のグローバル化が進む今、農学を学ぶことがどのように役立つのか、その必要性や可能性が理解されているとはいえません。また、農学が生活に密着した学問であるという認識も薄いのが現状です。

世界の食料問題解決を目指す研究者のレクチャーを聞き、それに関連した実験をしましょう。アジア・アフリカからの留学生と英語で話をしてみましょう。農学が解決しようとしているトピックスについて理解を深め教員や院生、農学分野で活躍する若手社会人との出会いを通じて、大学卒業後のキャリアパスを具体的に描き、進路を考えるきっかけをつかむワークショップを提供します。保護者の方もぜひご参加ください。

開催日時：2017年9月10日(日)10:00～15:00

開催場所：東京農業大学 世田谷キャンパス

参加対象：中高生およびその保護者

スケジュール：

10:00～10:40 レクチャー；重要イネの病害研究を行う教員によるレクチャー「植物の病気診断で途上国の食糧問題に挑む」(国際農業開発学科 教授：夏秋啓子)

10:40～11:20 サイエンスカフェ；来日中の留学生の英語による研究内容の説明や将来計画を聞いてみよう(日本人在学生による通訳)。

11:20～12:00 憧れトーク①；現在の仕事の内容と大学での学びがどのように繋がっているか、どうして農学を選んだか、どんな中高生だったかなどについて、開発コンサルタントや農業系ベンチャー企業などで活躍する卒業生から直接話を聞きます。

12:00～13:00 昼食

13:00～14:30 目指せフィールド研究者；レクチャーの主題であるイネについて、病気の診断などをおこない、食糧生産を支える農学研究の魅力を実感します。

14:30～15:00 憧れトーク②；食品関連企業や農業関連企業などで活躍する卒業生から直接話を聞きます。

参加申し込みの方は at206517@nodai.ac.jp まで空メールをお送りください。

参加申し込み締め切り：8月24日(木)



イネの病気の研究をする大学院生



海外で現地の問題を学ぶ学部生